

第1回 ひょうごフィールドパビリオンコーディネート会議 議 事

- (1) ひょうごフィールドパビリオンコーディネート会議について
- (2) 万博後の動き
- (3) ひょうごフィールドパビリオンの今後の展開について
- (4) SDGs体験型地域プログラムの認定について
- (5) その他

- 本県では、万博を契機に展開してきた「共創の輪」に県民が主体的に参画し、万博がもたらす活力を兵庫に呼び込んできた。
- 特に「ひょうごフィールドパビリオン」においては、単なる観光誘客ではなく、兵庫各地にある地域の営みに光を当て、幅広く掘り起こすことで地域資源を再評価し、地域の持続可能性を高めてきた。補助金を前提としないプレイヤーの主体的な活動と地域が一丸となった取組は、公民連携の好事例となった。
- 引き続きアフター万博においても、フィールドパビリオンが、住民主体の自立自走な仕組みとして機能し、さらなる成果へつなげ、持続可能な地域を実現するために、県として取り組むべき視点についてご助言等をお願いしたい。

○ ひょうごフィールドパビリオンコーディネート会議の趣旨・目的

- (1) ひょうごフィールドパビリオンの展開に関する助言
- (2) SDGs体験型地域プログラムの認定に係る審査
- (3) その他ひょうごフィールドパビリオンの推進に必要な事項に関すること

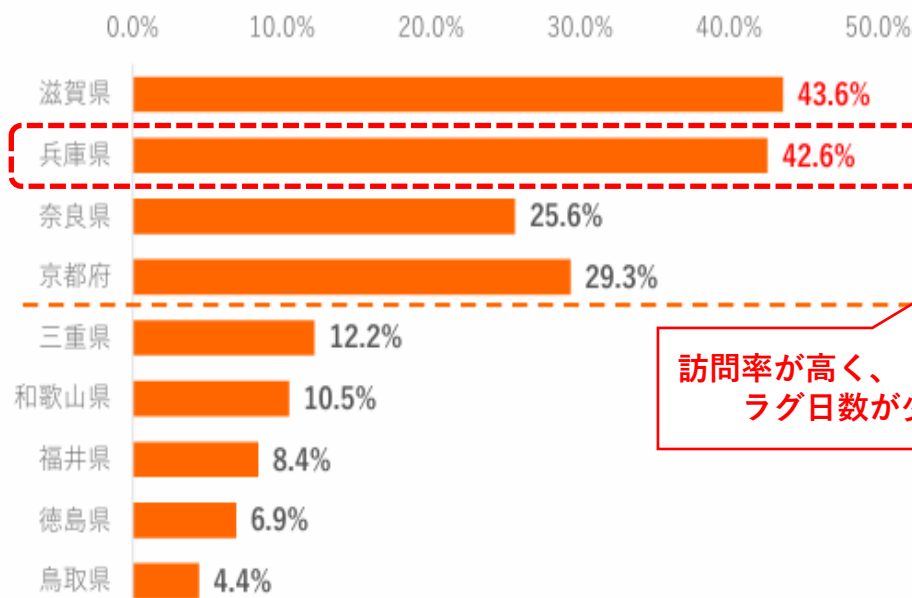
大阪・関西万博を契機とした地域への人流波及効果に関するトピックス

万博来場者が周辺地域を訪問した実績調査では、他の地域に比べ、多くの方が兵庫県を訪問したという分析報告が公表（滋賀県に次いで2位）

フィールドパビリオンをはじめとした本県の万博関連事業一定の効果

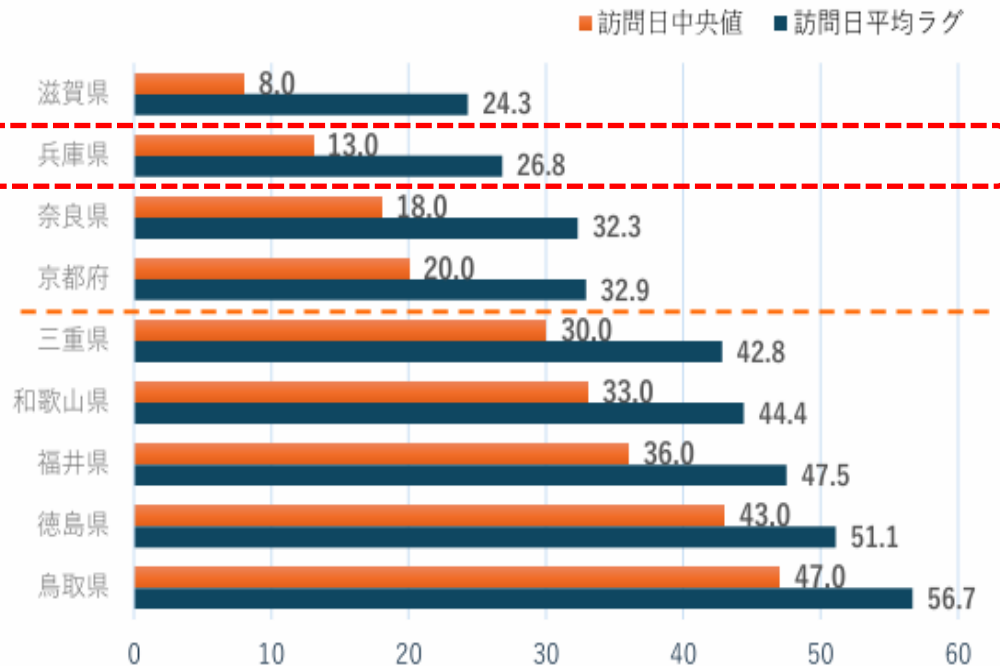
【関西パビリオン来場者の各都道府県への訪問率および訪問時期の特徴】

関西パビリオン来場者の各都道府県訪問率



訪問率が高く、
ラグ日数が少ない

各都道府県への訪問までの日数（ラグ日数の平均と中央値）



調査名	大阪・関西万博を契機とした地域への人流波及効果に関する分析
データ	(株)プログウォッチャーの提携するアプリをダウンロードし、位置情報取得に同意したユーザーの端末から取得された位置情報データ
対象者	2025年4月13日～10月13日の期間に、大阪・関西万博会場内で1回以上の位置情報ログが取得されたユーザー

出展：「大阪・関西万博を契機とした地域への人流波及効果に関する分析詳細報告書」（2026年3月25日発行）
 (株)リクルート ジャらんりサーチセンター 研究員 北 真理子
 神戸大学大学院経営学研究科 藤原 賢哉 教授
 同志社大学商学部 中岡 孝剛 准教授

万博レガシーの展開に関するトピックス

EXPO LEGACY HYOGO スタンプラリー

万博で人気を博したスタンプラリーの取組を継承し、県内各地のFPやレガシー施設にスタンプを設置（R8.3～実施）



一定の条件達成者には記念品を贈呈する夏休み特別企画を実施中（7/15～8/31）

コンプリート達成者には、FPのプレミアム体験券を贈呈予定



万博レガシー施設の移設

関西パビリオン「兵庫県ゾーン」や県内拠点「ひょうごEXPO TERMINAL」での主な展示物の移設



HYOGOミライバス
（県立兵庫津ミュージアム）



播州織（西脇市Miraie）

県内万博パビリオン等出展企業の万博展示物移設・公開

企業及びパビリオン名	移設物	移設先
川崎重工業(株) （未来の都市パビリオン）	CORLEO（コルレオ）	カワサキワールド*
	ALICE SYSTEM（アリス・システム）	
(株)神戸製鋼所 （未来の都市パビリオン）	ボールコースター	バンドー神戸青少年科学館
	球体LEDビジョン	国際健康開発センター
	インタラクティブ*	灘浜サイエンススクエア
(株)パナソニックグループ （PASONA NATUREVERSE）	PASONA NATUREVERSE	淡路島内

本日ご議論いただきたい項目の論点整理

論点1 万博後におけるFPの展開について

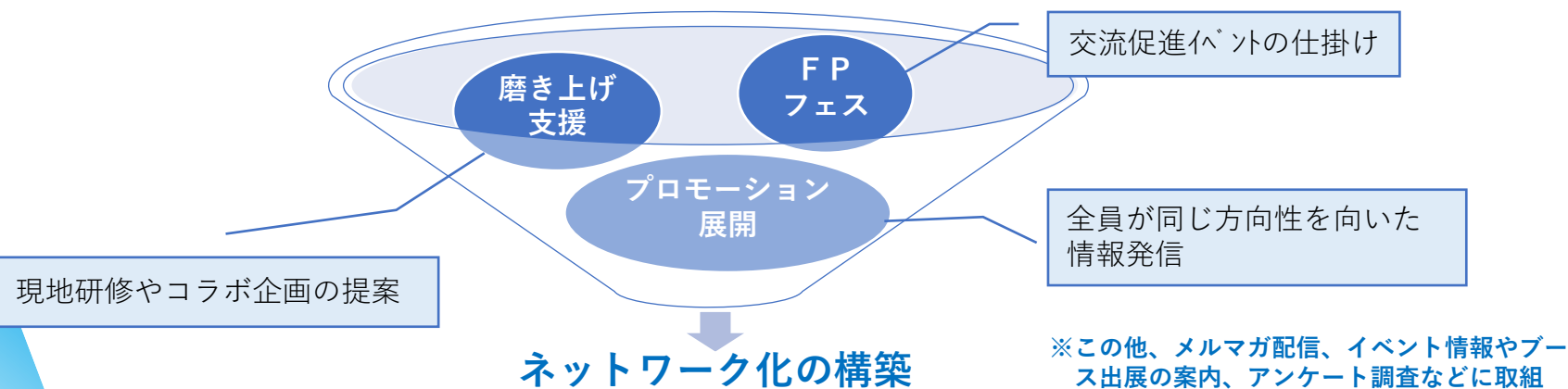
○これまで関西万博を目標として、主として誘客に着眼したFPを展開してきたが、持続可能な地域振興につなげるため、今後の取組に必要な視点

- ・ 個々のFPのカテゴリーや立ち位置の再確認・再整理
- ・ FPを通じた関係人口創出や地域の担い手不足の解消
- ・ 観光、地場産業、伝統文化など、県の各分野別施策との連携・バトンタッチ

論点2 今年度の取組を通じたFPのネットワーク化の構築について

○270を超えて認定してきたFPについて、万博後は、FPのネットワーク化を推進し、地域に根付いた持続的な活動へつなぐため、個々の事業に必要な取組

- ・ 優良・先進事例の横展開が促進されるつながり
- ・ 必要・有益な情報が的確に伝わるプレイヤーや関係機関のつながり



関係人口の拡大
移住・定住促進
「ビックプライド」の醸成

これまでの取組

発掘

万博を原動力として展開

認定

意欲があるものを幅広く認定
特に、地域の中核となるプログラムをプレミアム認定

磨き上げ

FPコンセプトの普及促進、プログラムの魅力向上や
プレイヤー間の連携強化

○取組事例

- ・FPフェスティバル2025の開催
- ・研修会の実施（座学・実地）
- ・商談会・エクスカーションの実施

TOPICS!

磨き上げの取組により、多様なネットワーク形成が促進

■ 淡路島ネットワークの発足

プレイヤー間の自主的な呼びかけによるネットワーク組織が発足

■ Tamaki niime コラボレーション

播州織に丹波焼や日本酒がコラボした商品開発 etc

プロモーション

観光部局とも連携し、国内外から、FPへ誘客するためのプロモーションを積極的に展開

○取組事例

- ・播州織や日本酒等の認知向上に向けた広報活動
- ・国内外の旅行博等への出展
- ・専用HPの立ち上げ、SNSを活用した動画発信

シビックプライドの醸成

万博を機に子どもたちが今までにない経験や新しい価値観に触れることで、自分の将来や未来社会について考えるきっかけを創出

○取組事例

- ・「ひょうごEXPO DREAM BUILDERS」の展開
- ・公民連携による万博こども招待プロジェクトの実施

R8年度の展開

関係人口創出や地域振興につながる取組を発掘

これまでの取組を継続

各地に点在するFPのネットワーク化による先導的取組や優良事例などを横展開を強化

○新たな取組予定

- ・【新】FPフェスティバル2026の開催
- ・【新】専門アドバイザー派遣による支援

※研修や商談会も引き続き実施

本県への誘客が見込める地域にターゲットを絞った効果的なプロモーションを引き続き展開

○新たな取組予定

- ・【新】FPブランドコミュニケーションの確立
- ・【新】「押しプログラム」を活用した情報発信

※旅行博出展やSNS発信等は引き続き実施

より多くの子どもたちの体験機会拡大やFPへの参加を促し、シビックプライドの醸成を図る

○新たな取組予定

- ・【新】FPこども体験ツアー
- ・【新】キッズEXPO

令和8年度の主な取組予定

1

ひょうごFPフェスティバル2026（仮称）

FPの魅力を発信するとともに、先進的取組や優良事例などを横展開するため、ひょうご五国の情報発信の拠点である兵庫津ミュージアム全体をフィールドパビリオンに見立て、プレイヤーが一堂に会するイベントを開催

- (1) 時 期 2026年12月5日（土）
- (2) 場 所 兵庫県立兵庫津ミュージアム

課題や検討事項

- ネットワーク化の促進に必要な企画運営、プレイヤー間の交流を深める企画（案：自主的なブース運営、商品コラボ企画 等）
- プレイヤーの参加意欲促進、モチベーション向上の仕掛け、集客の方法（案：企画委員による基調講演、著名人の起用 等）

2

専門アドバイザー派遣による支援

誘客向上に向けた座学・実地研修を引き続き実施するとともに、新たに個別課題への対応や商品化等に向けた専門性の高い支援を実施

- (1) 派遣対象 30者程度（1プログラムあたり3回を目安）
- (2) 支援事例 マーケティング、商品開発、販路拡大、広報プロモーション 等（事前にきめ細かな課題抽出ヒアリングを実施）

課題や検討事項

- 事業の効果的な周知、参加者の募集（案：キックオフフォーラムの開催、先進的なFPによるモデル事例の共有 等）
- プレイヤーへのきめ細かなアドバイス、プレイヤー目線の寄り添った支援（多自然地域づくりアドバイザーの起用 等）

3

「ひょうごFP」のブランドコミュニケーションの確立

FPのブランドイメージ確立に向け、広報ガイドライン等を策定し、その方針に基づき、プロモーションを展開

- (1) 検討項目 FPのブランドイメージ確立、広報ガイドライン等の策定
- (2) 実施内容 PR業務（メディアリレーション等）

課題や検討事項

- FPの認知の仕方が受け手にとってバラバラであり、統一的なFPのブランドイメージ確立を目指す必要
- FPのブランドにマッチした誘客手法が図れるようバブリシティのさらなるブラッシュアップ

R 8年度 ひょうごフィールドパビリオン 主な関連スケジュール

	コーディネート 会議	プロモーション関係	磨き上げ関係	その他
4～6月		○神戸祭り ○梅田旅博		○3月末 スタンプラリー開始
7月		○フランスプロモーション ・ Japan Expo Paris ・ セールスコール		○博覧会協会石毛事務総長 来庁・知事面談 ○スタンプラリー夏休み企画
8月	○8/4 第1回会議		○専門アドバイザー派遣検討中	
9月		○ツアリズム ExpoJapan 2026 (東京)		○キッズExpo神戸
10月				○青年会議所全国大会(神戸) 兵庫魅力発信イベント
11月		○台湾国際観光フェア ○神戸マラソンレセプション ○国立競技場ヴィッセル戦		○子ども体験ツアー実施 (11月～2月予定)
12月			○FPフェス2026	
1～3月	○第2回 会議	○瀬戸内・九州地方での プロモーション		

メディアリレーションの展開

第12次認定プログラム（事務局案） 一覧：8件

	プログラムの名称	実施主体	地域
<摂津>			
1	オールド化するニュータウンの未来を考える～福祉・農・地域がつながるコミュニティづくり～	社会福祉法人 丸	神戸市
2	森と運河のあるまち、尼崎臨海地域で環境の回復・創造を体験する	阪神南県民センター (尼崎21世紀プロジェクト室)	尼崎市
<播磨>			
3	金具打ち・金箔押し体験	株式会社原田光明堂	姫路市
4	心を刃に、想いを形に～プロ仕様の「彫刻刀」で作り出す、オンリーワンの木のスプーン体験～	道刃物工業株式会社	三木市
5	あなたもアーティスト！世界に一つだけの魂の書作品が書ける	人権書道きらきら	三木市
6	兵庫県産ヒノキのアップサイクルブラシでつくる、世界に一つだけの絵付け体験	有限会社イシイ	三木市
7	一穂からグラスへ。山田錦と吟米麦芽を味わうファーム・ツーリズム	なごみふいーるど	三木市
8	飯見棚田から未来へつながるプロジェクト	飯見夢むら棚田の会	宍粟市

ひょうごフィールドパビリオン認定に当たっての考え方

- ① プレイヤー自身が発信することも重要視しているため、**意欲があるものを幅広く認定。**
 - 意欲が有る限り、県が伴走型で支援を行うことが基本姿勢。
 - 認定基準に未達の項目は、原則、磨き上げで対応。足りていない基準として、認定通知で明記。
- ② 支援の内容が定まらないもののみ、**認定を見送る。**
- ③ プログラムの継続や県と協力した取組が困難になった場合には、**認定を取消す可能性あり。**

1. 認定プログラムの構成

(1) 基準を満たしたものを、**全て認定**する。

- ① ひょうごフィールドパビリオンの展開趣旨にふさわしいか
 - ア) 各地域に根差したストーリーや稀少性、独自性など
 - イ) 地域や社会の諸課題を解決し、未来志向型の成果を探究
 - ウ) 事業の継続性や地域の持続可能性
- ② プログラムのブラッシュアップや周辺他プログラムとの連携
- ③ 社会通念上、懸念があるか。

(2) 基準を満たしたものを、**プレミアとして選定**

『各地域の風土・文化との親和性』や『事業の持続可能性』から地域の核となるもの

(3) 未達の項目があるプログラム

『今後、より地域を豊かにする可能性』が高いと期待できるもの

2. 認定外・対話を継続して再チャレンジ可能

第12次認定のプログラム概要（事務局案）

□第12次認定対象プログラム：

令和8年3月～令和8年6月までに応募のあったプログラムの **9件が対象**

【第12次認定プログラム（事務局案）】

認定：8件（合計281件）

※既認定プログラムのうち、1プログラムを取りやめ、新規認定

認定を見送る：1件

地域別件数

地域	件数(合計)
摂津	2(71)
播磨	6(111)
但馬	-(43)
丹波	-(27)
淡路	-(29)

分野別件数

分野	件数(合計)
震災復興	-(7)
自然・環境	1(66)
農林水産	2(42)
食	-(27)
経済・地場産業	3(64)
文化・芸術	2(75)

- 地域に根ざしたストーリー等がない
- 実現可能性が低い

認定プログラム 1/8

自然・環境



オールド化するニュータウンの未来を考える～福祉・農・地域がつながるコミュニティづくり～ (神戸市)

【発信できるテーマ性】

- 開発から40年以上が経過し、高齢化や地域関係の希薄化など「オールドニュータウン化」の課題に直面する西神ニュータウンは、都市機能と農村環境が近接する立地特性を持つ。
- 社会福祉法人丸は、この地で新たに建設する福祉施設を拠点に、農家や地域活動者など多様な主体と関りながら、地域を知り、人のつながりを育む新たな地域づくりに取り組む。
- 本プログラムは、みちくさハンティングやワークショップ等を通じて、福祉施設と地域がつながる実践の過程に触れることができる。オールドニュータウンで始まる都市と農村の人と世代がつながる新たな可能性に触れてみては。

概要：西神ニュータウンの現状や課題について学び、都市と農村が近接する立地を活かした地域資源や地域活動を体験するプログラム。

実施主体：社会福祉法人丸



▲新たに建設する高齢者複合施設（R10年開設予定）



▲みちくさハンティング



▲ワークショップ（まちにわとーく）

認定プログラム 2/8

経済・地場産業



森と運河のあるまち、尼崎臨海地域で環境の回復・創造を体験する（尼崎市）

【発信できるテーマ性】

- 重厚長大産業が立地し、日本の経済発展を支えてきた**尼崎臨海地域**。自然海岸は埋め立てられ、公害問題を抱えるなど、かつては**瀕死の海**とまで言われたが、産業構造の変化等に伴い、遊休地が発生するなど、地域活力の再生が課題になっていた。
- 「**尼崎21世紀の森構想**」は、多様な主体の参画と協働し、尼崎臨海地域に水と緑と人が共生する環境創造型のまちづくりを目指す取組。かつての工場跡地であった**尼崎の森中央緑地**では苗木の植え付けや成長した樹木の間伐などで森を育てる活動が行われているほか、**尼崎運河**では生物の力を使った水質浄化等の取り組みも実施されている。
- 本プログラムは、尼崎の森中央緑地や尼崎運河等で、工場跡地に再生された**森づくりや運河の水質改善の取組**を体験するもの。人と自然との良好な共生関係をもって持続的に発展するまちづくりを体感することができる。

概要：尼崎の森中央緑地や尼崎運河等において、再生された森づくりや運河の水質改善に係る活動を体験するプログラム。

実施主体：阪神南県民センター尼崎港管理事務所

尼崎21世紀プロジェクト外室



▲はじまりの森
(尼崎の森中央緑地において最初のもりづくりが始まった場所)



▲里山林再生の取組



▲尼崎運河の水質浄化の取組

認定プログラム 3/8

文化・芸術



金具打ち・金箔押し体験（姫路市）

【発信できるテーマ性】

- 江戸時代から八代、約240年続く原田光明堂は、障子が内外に開く無双金具が特徴の伝統工芸品「姫路仏壇」の老舗だ。初代・惣兵衛が姫路城主お抱えの塗師として創業して以降、職人の手仕事を大切に、現在でも古来の技法と伝統を守り続けている。その製作にあたっては、木地、屋根（宮殿）、彫刻、鍔金具、下地・漆塗り、金箔押し、蒔絵・採色、組立の八職に分業している。
- 本プログラムは、伝統工芸・姫路仏壇の歴史を学びながら、工房見学のほか、金属に命を吹き込む刻の「鍔金具」や、1万分の1ミリの金箔が放つ光を纏わせる「金箔押し」を体験できる。普段は立ち入ることのできない職人の現場で、華やかで精緻な技を楽しんでみては。

概要：職人の工房見学や金具打ち（銅板に対し、専用の鑿と金槌を用いて模様を刻印）、金箔押し（自身で打った金具にその場で金箔を押す）を体験するプログラム。

実施主体：株式会社原田光明堂



▲金具打ちの工程



▲金具打ちで模様が刻印された銅板



▲金具打ち専用の鑿（たがね）

認定プログラム 4/8

経済・地場産業



心を刃に、想いを形に～プロ仕様の「彫刻刀」で作り出す、オンリーワンの木のスプーン体験～（三木市）

【発信できるテーマ性】

- 日本で最も古い金物のまち・三木では、約400年にわたり鍛冶職人の手づくりの技が受け継がれてきた。
- この地で、稲刈り用の鋸鎌の製造にはじまり、1979年の会社設立から彫刻刀の製造を開始したのが道刃物工業株式会社。三木金物の技術を継承しながら、仏師や能面師などプロだけでなく、学校向けの美術教材用や樹脂用、ゴム用、革用など、多彩な彫刻刀を手掛けています。
- 本プログラムは、彫刻刀の製造現場の見学や、プロ御用達の彫刻刀を手に最高級の切れ味を体感する木彫り体験、一生モノのメンテナンス術として海外のユーザーからも定評のある「彫刻刀の研ぎ」の技を味わうことができる。

概要：彫刻刀の製造現場見学、プロ御用達の彫刻刀での木彫り体験、「彫刻刀の研ぎ」の技を学ぶプログラム。

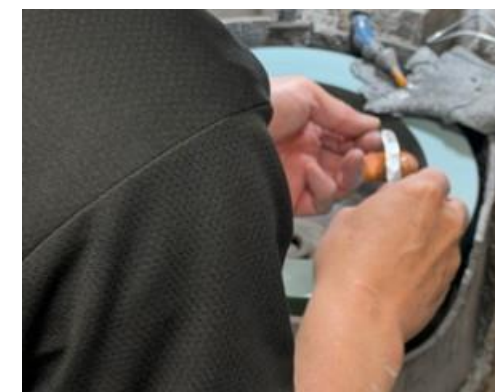
実施主体：道刃物工業株式会社



▲様々な種類の彫刻刀



▲彫刻刀による木彫り



▲彫刻刀の製造現場

認定プログラム 5/8

文化・芸術



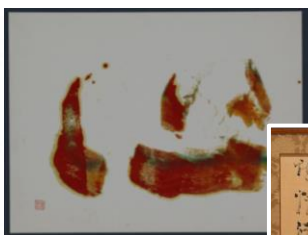
あなたもアーティスト！世界に一つだけの魂の書作品が書ける（三木市）

【発信できるテーマ性】

- 三木市は、伝統的な古典の書を基盤としながらも、綺麗な字にこだわらず、墨のカスレや空間を上手く使って書く前衛書道の創始者・上田桑鳩氏が生誕した地でもある。この地を拠点に活動する人権書道きらきらは、障がいの有無や年齢に関わらず、「誰もが共に」「自由に」という趣旨のもと、書道を通じた自己表現の場を20年以上にわたり展開している。
- 本プログラムは、上田桑鳩氏の作品を所蔵している三木市立堀光美術館において、上田桑鳩氏の前衛書道の歴史や作品、思いを学び、中筆から特大筆までの筆や、筆以外の道具も使用し、字を綺麗に書くことにこだわらず、あなただけのアート作品を制作することができる。

概要：上田桑鳩氏の作品を所蔵している堀光美術館にて、中筆や特大筆、筆以外の道具を使用した書アート作品を制作するプログラム

実施主体：人権書道きらきら



▲上田桑鳩氏の作品（三木市所蔵、左：「心」、右：「寂照」）



▲中筆や特大筆、筆以外の道具



▲上田桑鳩氏の作品を展示する
三木市立堀光美術館

認定プログラム 6/8

経済・地場産業



兵庫県産ヒノキのアップサイクルブラシでつくる、世界に一つだけの絵付け体験（三木市）

【発信できるテーマ性】

- 三木金物のうち、鋸（のこぎり）、鑿（のみ）、鉋（かんな）、鋺（こて）、小刀（こがたな）の5品目が国の伝統的工芸品に指定されるなど、**大工道具のまち**としての顔も併せ持つ。
- この地で大工道具である**左官ブラシ**をはじめとする様々なブラシを制作してきたのが**有限会社イシイ**。左官ブラシ専門研究所を立ち上げるなど、多彩なブラシ技術を有するものづくり企業である。
- 本プログラムは、**家具材や建材として利用されにくい兵庫県産ヒノキ**を活用し、自ら絵付けをした**世界に一つだけのオリジナルブラシ**を制作するもの。アップサイクルな取組を通じて、**ものづくり文化やブラシ産業**について学ぶことができる。

概要：大工道具のまち三木で受け継がれてきたブラシ製造技術や地域産業、さらには木材利用等の重要性について学び、兵庫県産ヒノキを活用して製作したアップサイクルブラシへの絵付けを体験するプログラム。

実施主体：有限会社イシイ



▲兵庫県産ヒノキで製作されたブラシ



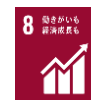
▲兵庫県産ヒノキを活用した作品



▲絵付け体験スペース

認定プログラム 7/8

農林水産



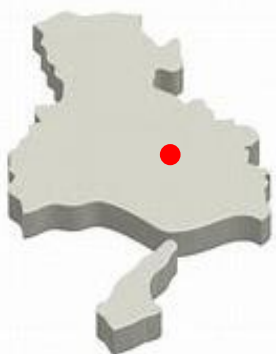
一穂からグラスへ。山田錦と吟米麦芽を味わうファーム・ツーリズム（三木市）

【発信できるテーマ性】

- 酒米の王者「**山田錦**」は兵庫県が約90年前に品種開発し、全国500以上の酒蔵に供給するトップブランドの酒造米。三木市にはこの山田錦の生産に最適な土壌や気象条件を備えた**特A地区**とよばれるエリアがある。
- より多くの人に山田錦の魅力を知ってもらうため、**山田錦を原料の一つとして使用したビール「吟米麦酒」**を開発したのが**なごみふいーんど**。ビールなのに、日本酒のような味わいや華やかな香りが特徴だ。
- 本プログラムでは、**山田錦の田植えや稲刈り**を通じて、山田錦農家の営みを体験するとともに、体験場所の圃場で収穫された**山田錦を使用した日本酒やビール**を現地の風を感じながら味わうことができる。

概要：山田錦について学び、田植えや稲刈りを体験した後、山田錦の日本酒やビールを試飲できるプログラム。

実施主体：なごみふいーんど



▲田植え後の圃場



▲稲刈り前の圃場



▲山田錦の日本酒「吟米」とビール「吟米麦酒」

認定プログラム 8/8

農林水産



飯見棚田から未来へつながるプロジェクト（宍粟市）

【発信できるテーマ性】

- つなぐ棚田遺産にも選定された「飯見の棚田」は、約1,300年前から米作りが行われた記述が播磨風土記にある。粘度質の土壤に雪解け水の湧水を用い、中山間地の昼夜寒暖差や、南東に面した長い日照時間はコシヒカリの栽培に適し、群を抜いて美味とされるお米が育つ。
- 棚田保全と地域活性化を目的として2005年に設立された「飯見夢むら棚田の会」は、地域ぐるみで楽しい農業を目指す。虫おくりや新米まつりなど他団体と連携して各種行事を開催するほか、ライスセンターを設置して棚田米「播州こしひかり 飯見の郷」をブランド化する取組も好評を博している。
- 本プログラムでは、季節に応じて田植え、稲刈り、草刈りなどの農作業体験のほか、棚田が持つ防災機能や生物多様性について学ぶことができる。

概要：田植え、稲刈り、草刈り等の季節に応じた農業体験、棚田の持つ防災機能や生物多様性について学べるプログラム。

実施主体：飯見夢むら棚田の会



▲播州こしひかり「飯見の郷」の米袋デザイン



▲棚田の景観（「つなぐ棚田遺産」）



▲地域伝統行事「虫送り」